

日本は金 1・銀 2・銅 2、全員入賞

第 7 回世界武術選手権大会 11 月 4 ~ 7 日中国マカオで

「第 7 回世界武術選手権大会」が 11 月 4 日 ~ 7 日、国際武術連盟 (I W U F) の主催、マカオ武術総会・マカオ体育発展総局主管、第 4 回東アジア競技大会マカオ組織委員会の協賛により、マカオ理工学院体育館で行われた。

渡邊俊哉選手が太極剣で金メダル
57 カ国・地域から代表選手が出場

大会には、I W U F 加盟の 57 国・地域から選手 746 人 (男子 298 人・女子 132 人) が出場した。套路競技は長拳、剣術、刀術、槍術、棍術、太極拳、太極剣、南拳、南刀、南棍、および対練の 11 種目、男女合計 22 種目が行なわれた。

大会では、套路競技のほかに散手競技が行われたが、日本は套路競技のみに出場した。日本からは今年 7 月に東京体育館で開催された第 20 回全日本武術選手権大会で選抜された選手 8 人 (男女各 4 人) が出場した。

散手競技は男子体重別 11 階級、女子体重別 6 階級でそれぞれ競技が行われた。

大会開幕式が 11 月 3 日夜に盛大に行われ、翌 4 日から競技開始となった。

日本選手団は大いに健闘し、渡邊俊哉選手 (大阪府連盟) が男子太極剣で金メダル、男子太極拳で銀メダル、赤沢依美選手 (東京都連盟) は女子太極剣で銀メダル、女子太極拳で銅メダルをそれぞれ獲得した。武田幸子選手 (東京都連盟) は女子南刀で銅メダルを獲得。その他の選手も全員がメダル獲得こそならなかったもののいずれも入賞を果たしている。米本二一選手は男子長拳、男子槍術の両種目でいずれも第 4 位に終わった。成績一覧は 5 頁に掲載した。

日本選手団は金 1・銀 2・銅 2 を獲得し、合計 5 個のメダルを獲得した。総合成績 (套路競技) は中国が群を抜いて 1 位、日本は総合成績 7 位となった。

大会套路競技の各国・地域のメダル獲得状況は下表の通り。

第 7 回世界武術選手権大会メダル獲得状況

順位	国・地域名	金	銀	銅	メダル総数
1	中国	9	0	0	9
2	ベトナム	3	3	2	8
3	中国香港	2	5	4	11
4	ミャンマー	2	2	0	4
5	中国マカオ	2	0	2	4
6	ロシア	1	4	0	5
7	日本	1	2	2	5
8	フィリピン	1	2	1	4
9	オランダ	1	0	0	1
10	マレーシア	0	2	3	5

日本選手団は 11 月 1 日に成田空港および関西空港からそれぞれ出発して香港経由でマカオに到着。7 日の閉幕式に参加した後、8 日に全員が無事帰国した。

今回の大会に参加した 57 カ国・地域は別掲の通り。

I W U F 総会で新会長に于再清氏を選任
次回の世界選手権は再来年モスクワで

本誌前号の速報の通り、現地マカオで 11 月 3 日に開かれた I W U F 総会で、于再清氏(中国スポーツ次官、中国オリンピック委員会副会長、国際オリンピック委員会委員)が I W U F の新会長に選任された。

I W U F 主催による第 1 回国際伝統武術フェスティバルが来年 9 月に中国河南省鄭州市で開催されることも、今回の I W U F 総会で決定した。ニジェールはじめ 11 カ国・地域の新規加盟が総会で承認され、I W U F 加盟の国・地域は 97 になった。

また、次の世界選手権大会は、2005 年にロシアのモスクワ市で開催することが決定した。(以下略)

(日本連盟機関誌「武術太極拳」2003 年 12 月号、 169 より転載)
大会成績一覧は[「国際競技大会、全国大会成績」](#)を参照。